

聖誕主日  
 説教

# 「救い主がお生まれになった」

＜ルカによる福音書2:8~14＞



郭恩珠 牧師 (センムル(泉) 教会)

ジングルベルの曲が人々の心をせきたて、サンタクロースが繁華街にお目見えし始め、クリスマスツリーがデパートなどに飾られるようになると「ああ、今年もクリスマスが来たんだなあ」と誰もが思います。なぜならジングルベルやサンタクロース、そしてクリスマスツリーなどはクリスマスのしるしになってしまっているからです。しかし、それらのしるしとされているものは、それぞれ歴史的にいわれがあるにしても聖書に記されているものではありません。

今日の本文のルカによる福音書に見られるキリストのご降誕の記事によりますと、最初のクリスマスは決してきらびやかなものではなかったことがわかります。田舎町のベツレヘムの、とある貧しい馬小屋の飼い葉おけ、そこに寝かされているひとりのみどり子。これが、聖書が言っている本当のクリスマスの姿なのです。

「この世の民全体に与えられる大きな喜びを告げる」と、天使は言っています。この世を救われる主イエス・キリストがお生まれになったということ。主イエスのご降誕は偶然に行われたことではなく、旧約のイザヤの預言通りに答えられた歴史的な出来事です。けれどもイエスさまの到来は誰にも注目されなかった日でした。そしてイエスさまがこの世に來られた出来事が、また、私の救い主として信じるようになることが、神さまの御前で祝福された選択であることは言葉で表現できないほどであります。私たちの心はあまりにも多くこの世に奪われているのが現実であり、実感していないことが私たちの限界であります。

そのような私たちをどれほど愛されれば、神さまが人を救うために人間となって來られるのでしょうか。それは広大な創造主なる神さまが私たちと似た人間の姿で現れたということです。神さまは私たちをもっと知り、私たちの苦しみや悲しみを共に感じ、この世で生きていながら体験する不安と恐れ、空しさや失敗、そして貧しさがどれほどつらいことなのかを共に味わわれるため人間になられ、ご自分から私たちのほうに來られたのです。

神さまが神さまであることに固執されず、自分を無にされ私たちと同じ者になられました。これはどれほど驚くべき神秘であり祝福なのでしょう。主イエスがこの世に來れなかったならば、誰一人として死と恐れと絶望から抜け出せなかったことなのでしょう。誰一人として解放される者はいません。

人間は救いに対しては完全に無力な存在です。すでに罪によって汚れた私たちの心を洗う力が私たちにはありません。私たちの力や努力では不可能なことです。罪が赦される権威は、罪を犯した人間には与えられません。ただ唯一、神さまが赦してくださることによってのみ可能なのです。神さまは私たちの罪を赦してくださるために、私たちの心の汚れをきれいに拭われるために、私たちのたましいと生活全体を救ってくださるために、イエスさまをこの世に送って下さいました。

主イエスのご自分の体を供え物として捧げられるため、愛の道を選択されたわけ。クリスマスは、鈍くて頑固な罪人である私たちにとっては、生きる道が開かれた日であり、主イエスにとっては死なれるために來られた日です。

神さまのみ子イエスが馬小屋の飼い葉桶の中に寝かされるということは、私たちの汚れた心にも宿られるということです。馬小屋のような私たちの中にある汚く醜く臭いものを十字架に付け、私たちの身代わりとして死なれ復活なさったその主イエスと共に、復活の新しい人生を送らせるために、幼子イエスはこの世に來られたのです。神さまは戸口に立って戸を叩かれながら、私たちの存在の中に入ろうと願われます。私たちはありのままの姿を持って、神さまの存在の中に、命の中に入る時、私たちは神さまと共にいる恵みをいただけるようになります。(マタイ1:23)

明日に対する希望がなく、不安で恐れの中にいる私を訪ねて下さり「あなたにも明日があるんだよ」と言われながら希望を与えてくださるお方が救い主イエス・キリストです。

主はわたしと皆さんの心にも宿られ、生活や生き方を変え、神さまの御心にふさわしい者として仕上げられていきます。ですから、私たちは永遠の命の希望でおられる主イエス・キリストの上に堅く立ち、主と共に歩みながら日ごと天の御国を目指し備える者にならなければなりません。

クリスマスは私たちと共におられると約束して下さる神さまに、そしてイエスさまに、真心を込めて礼拝を捧げる日であり、同時に私たちが愛する隣人と共にその喜びと平和を分かち合う日でもあります。

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ」

命の光として來られたクリスマスの主イエスを喜びを持って迎えながら、唇や生活を通して讃美しましょう。

## 韓日対照聖書販売



各ページ左に韓国語(改革改版)、右に日本語(新共同訳)が掲載されています。

●A5版変型・1772ページ

●価格:3,000円(消費税・送料込み)

※お求めは総会事務所へ

## 韓日対照讃頌歌販売



韓国の新讃頌歌版です。交読文も韓日対照で掲載されています。

●B6版変型・1483ページ

●価格:2,500円(消費税・送料込み)

※お求めは総会事務所へ

## 日本キリスト教会との 宣教協力委員会開催

毎年1度行われる在日大韓基督教会（KCCJ）と日本キリスト教会（CCJ）との第18回宣教協力委員会が、去る11月26日に日本キリスト教会柏木教会にて開かれた。

KCCJからは総会長の趙永哲牧師をはじめ新任員らが出席し、CCJからは大会議長の久野真一郎牧師のほか渉外委員らが出席した。

今回も去年同様二部構成で、第一部を公開講演会、第二部に従来の委員会をもった。まず第一部の公開講演会は立教大学の西原廉太先生を講師として「改革教会－聖公会国際対話」広島会議報告の講演を聞き、第二部の宣教協力委員会では、両教会の課題が分かち合われた。



## 韓国宣教協約8教団との 総幹事・総務協議会開催

去る11月20日ソウルにおいて、在日大韓基督教会と宣教協約を結ぶ8教団の総幹事（総務、事務総長）協議会が行われた。

2014年7月に箱根で行われた7教団協議会以来、5年ぶりに行われた協議会で、各教団の課題を分かち合い、KCCJとしては2020年10月開催予定の「第9回祖国の平和と宣教に関する基督者会議」への協力要請とマイノリティー宣教センター支援要請などをした。

8教団との円滑な協力と連絡のため、趙姜新牧師（大神総会の総務）が窓口として進められ、KCCJからは新総会役員、デビッド・マッキントッシュ宣教師、そして韓国の各教団との幅広い人脈を持ち、特にこの度の協議会のため大きな役割を担った具滋佑牧師（東京希望キリスト教会）が参席した。



## 第7回 韓日5教団宣教師に 関する実務者会議開催

11月18日～19日、ソウルの基督教大韓監理会館において韓日5教団宣教師に関する実務者会議が行われた。宣教師を受け入れる側の在日大韓基督教会と日本基督教団、宣教師を送る側の大韓イエス教長老会（PCK）、基督教大韓監理会（KMC）、韓国基督教長老会（PROK）の実務者が、宣教師の派遣、訓練、現地適応などの情報を共有し、最善の方法を模索する会議であり、今回は、今まで3年間の会議の中で提起された諸問題を踏まえ、金柄鎬総幹事が「日本宣教師人材養成に関する提案」を発表し、その提案に意見を合わせながら討議された。主な内容は5年～10年後に日本宣教師に遣わされる人材を発掘し、韓国で「日本宣教アカデミー」を開設して教育をさせるなどである。

今回の会議には、総会長の趙永哲牧師をはじめ、金鐘賢牧師、鄭然元牧師、そしてKCCJ事例発題者として対馬めぐみ伝道所の朴榮喆牧師が参席した。



## 中部地方会 讚美・聖句暗唱大会開催 宗教改革502周年記念礼拝捧げる



中部地方会は10月27日（主）名古屋教会に於いて、宗教改革第502周年記念礼拝を捧げ賛美大会が行われた。礼拝は地方会会長鄭守煥牧師により「キリストの言葉に聞け」（ローマ10：17）という

題で説教がなされた。ひきつづき教会女性連合会主催で讚美・聖句暗唱大会が開催された。また長野教会の金珍明会長から、台風19号の災害の現状と問題点の説明があり、中部地方青年会の若さ溢れる讚美もあった。今回の愛賞は名古屋教会、希望賞は岐阜教会、そして信仰賞は豊橋教会が受賞し、120名の参加で祝福された讚美大会となった。

（報告：鄭恵子）

### 関聖連

## 邑久光明園家族教会訪問 フィールドワークによる学びの時間持つ

10月19日土曜日、関西地方会聖歌隊連合会（関聖連）と岡山教会の信徒総勢35名（牧師2名含む）が邑久光明園家族教会を訪問した。

今年は瀬戸内ハンセン病人回復裁判を支える会代表の難波幸矢氏に「命、生きること」という証をして頂き、その後も難波氏の案内により隣に位置する国立療養所長島愛生園においてフィールドワークを行った。

その後、邑久光明園家族教会において合同礼拝を捧げた。礼拝の中で関聖連は「恵みを知るようにしてください」という讚

美を捧げ、京都南部教会の許伯基牧師が「彼らの心にそれを記す」（エレミヤ31：33）という題目で説教を行い共に恵みの時間を分かち合った。

1996年から始まり22回目を数える今回の訪問は、療養所フィールドワークによる学びの時間を多く取り、各々特別な思いを持ち合同礼拝にて讚美と祈りを捧げた。

（報告：森克之）



全国女性会

## 電話相談セツトン開設15年 「心のケア局」に名称変更

2004年9月11日に「女性のための電話相談セツトン」が開始され15年が経過した。今日まで女性会会員の祈りと支援、世界祈祷日からの献金が大きな助けとなった。また、「電話相談セツトン」の開設に携わってくださった諸先輩方に感謝を捧げる。

開設当初2年間は相談件数がわずかしかなかったが、2006年からフリーダイヤル全国共通DVホットライン加入で、相談件数が増えた。しかし、2018年3月末の全国共通DVホットラインの終了に伴い、相談件数が再度激減。現在は電話相談セツトンの有料回線のみで第1・第3・第5土曜13～16時に一人体制で相談を受け付けている。

創立60周年記念事業として「心のケア事業」を促進し、電話相談の使命を果たしてきたが、時代の移り変わりと共に通信手段の発達、相談方法の多様化など、様々な状況からみて区切りをつける必要があると考えた。また、全国女性会の活動であり

ながらも、電話相談受付、講座などが関西地方に偏り、全国の活動としての共有が難しかった。

そこで、第62回定期

大会において、「電話相談局」を「心のケア局」に名称変更することが決定された。来年1月からの電話相談は予約制に変更(第1・3・5土曜13～16時受付)。緊急以外は、後日担当者より連絡する。また、各地方女性会と研修会を共催し、学びを共有して各教会で心のケアに携われる人材育成を目指したいと思う。

これからも、社会問題となっている児童・高齢者虐待、家庭内暴力、ハラスメント、移住外国人の人権侵害など小さくされた者に寄り添う全国女性会となるよう努めていきたい。

女性のための電話相談

セツトン

セクハラ・パワハラ・DV  
子ども虐待・子育てなど  
ひとりで苦しんでいませんか  
話すことは解決への第一歩...

☎ 06-6731-1616

第1・3・5土曜日 午後1時～4時

西部女性会

## 第32回修養会開催 神戸、川西、武庫川の師母が証

西部地方教会女性連合会第32回修養会が9月10日～11日、34名が参席し、「師母の祈り」という主題をもってシバル須磨で開催された。発題に神戸、川西、武庫川教会の師母の証があり、それを通して祈りの大切さ、どんなときにも感謝すること、日本宣教のための熱い思いなどを学び分かち合い、恵みに満ちた時間となった。また、西部地方会に属する各教会の祈りの課題を、心をひとつにして祈り讃美をささげる時間をもった。(報告者：伊豊子)



熊本教会

## 金聖孝牧師が表彰授与 刑務所の教誨師活動への感謝として

2019年11月6日福岡矯正管区教誨師研修沖縄大会に於いて、熊本刑務所における教誨師活動への感謝として、福岡矯正管区長より熊本教会の金聖孝牧師が表彰を受けた。金聖孝牧師は2005年11月に教誨師に就任以来、毎月4～5人の被収容者との個人教誨と、隔月に15人ほどのグループ教誨、クリスマス会、復活祭を行い、また京町拘置所や少年鑑別所でも活動をしてきた。



## 信徒の宣教師として世界に派遣する教会

趙顯奎 牧師

主の平和と恵みが在日大韓基督教会のすべての教会と共にあることを願います。別府教会は温泉の都市、大分県別府市にあります。山と海が見える素晴らしい所です。別府教会は2000年李恵蘭牧師が韓国からの留学生と共に礼拝を捧げながら始まりました。その当時は、まだ礼拝堂がなく日本基督教会の不老町教会の礼拝堂をお借りして礼拝をしていました。

その後、2005年に今の場所へと移り、2008年からは辛治善牧師が牧会、そして、2018年からは未熟な私が別府教会に任せています。

別府教会の特徴は留学生が多いということです。教会周辺にいくつかの大学があります。APU大学、別府大学、日本文理大学があり、韓国からたくさんの留学生が来て勉強しています。そのうちのクリスチャンが別府教会に来て一緒に礼拝を捧げています。また、韓国以外にも、台湾から来た人、今はいませんが以前はアフリカからの留学生もたくさんいました。このように、別府教会は若く、国際的な教会です。

しかし、留学生が多いために、財政的に苦しいという点と、勉強が終われば韓国に戻り、あるいは東京や福岡の大都市に就職のため行ってしまうという点があります。それでも、むしろ教会はこういう状況を私たちに下さった神様の使命だと考え、学生たちが勉強終えて「帰ってしまう」のではなく、「信徒の宣教師として世界に派遣するのだ」と考えながら、学生たちを神さまの御言葉で育てています。彼らが勉強を終えてた

だ国に戻るのではなく、あるいは就職してどこかに行ってしまうのではなく、イエス・キリストの福音を宣べ伝える神様の使者になるのです。そのために、私たち別府教会が用いられていると信じながら、これからもこの使命を果たしていきたいと思います。

別府教会は大きく3つのことを祈っています。1つ目はこのように「信徒の宣教師300人を派遣する教会になる」ことです。2つ目に教会の建築をすることです。現在の礼拝堂はもともと人が住んでいた家を賃りています。美しい教会堂が建てられるようお祈りを願います。3つ目は、教会に留学生だけでなく別府に住んでいる方々が来られることです。今、教会には長老1人、署理執事4人がいます。もっと教会の働き手が増えますようお祈り願います。別府教会は去る2019年11月3日に教会創立19周年を迎え感謝礼拝を捧げました。今まで守ってくださった神様に感謝しながら、これからもキリストの体である教会を守っていきたいと思います。



訪問  
手記

## 朝鮮キリスト教連盟訪問記 &lt;2&gt;

大阪教会 鄭然元 牧師

この文は在日大韓基督教会(以下「総会」)代表団が2019年7月26日から8月2日まで朝鮮人民共和国(以下「共和国」)朝鮮キリスト教連盟(以下「朝基連」)訪問後参加した鄭然元牧師の個人的な所感を整理したものである。

## 4. 朝鮮キリスト教連盟訪問と鳳岫(ボンス)教会の礼拝

今回の訪問の中で最も重要な仕事は朝鮮キリスト教連盟訪問と鳳岫教会での主日礼拝参加である。平壤に到着した最初の夜を過ごし7月28日(主日)「朝基連」関係者との出会いの時間が決まった。雨が降らず干ばつのために農作物の被害が心配される中、雨が降り始めた。案内係に「よい事をされる方が来られ、恵みの雨が降ります。」と言われた。

「総会」代表団は大同江辺に沿って建っている平壤ホテルから、用意したワゴン車に乗って出発し、平壤駅と光復通を過ぎ普通江(ボトンガン)を左に折れ丘を上がった。すると傘をさして丘に登る人々が見えた。「教会に行く人だろうか?」と、疑問に思いながら、宿舎を出発してから20分余りで鳳岫教会に到着した。

白い大理石で建てられた鳳岫教会は、現在共和国を代表するキリスト教機関である「朝基連」の本部と神学校と牧師館で構成されている。鳳岫教会は「朝基連」に所属している北朝鮮のプロテスタント教会を代表する象徴的な教会である。

最初の鳳岫教会堂は1988年11月に建築された。国家が土地を提供し、「共和国」の信徒による献金と海外教会の支援金の一部で建築され、「朝基連」に所属している教役指導者(牧師、伝道師、長老)が30余名と家庭教会に属している信徒300名からなり、初期はとても堅実なる教会として始まった。当時の

信徒たちは平壤の家庭教会に属している信徒であり、平均年齢は50代であったと言われる。以降、2005年11月、南北協力事業として2回目の教会が建築された。既存教会を完全に取り壊し600坪規模の教会堂が建築される



事になった。建築には、韓国教会を代表する金ヨンドク長老が建築委員長の責任を負い、設計と施工を担った。

地上3階建ての建物で、1階は事務室、教会室、接見室、聖歌隊室、2階は1,000席の礼拝堂、3階は放送室、幼児室が準備され音響、映像、同時通訳が備えられ、総工事費は韓国ウォンで33億ウォンになる超現代式の教会堂である。

再建築は大韓イエス教長老会(統合)男宣教会全国連合会と「朝基連」と鳳岫教会側との協議を経て2005年11月に始まり、2年間に携わる工事を終え2007年12月に入堂礼拝を捧げ、2008年4月6日南北教会指導者が参席し献堂式感謝礼拝を捧げた。 <次回は、鳳岫教会での礼拝様子を掲載します。>

## 2020年度 宣教師・神学生研修会案内

在日大韓基督教会に加入する宣教師と、神学校を卒業し伝道師考試を受験するために研修会を実施します。

- ・日 時：2020年3月8日(主日) 17:00～14日(土) 17:00
- ・場 所：(講義・宿泊) 在日総会神学校(東京都足立区西新井本町4-5-1)
- ・履修科目：KCCJ神学・宣教理念、憲法・規則、在日同胞史、KCCJ歴史、日本教会史・神学、エキュメニカル神学、KCCJ教会・礼拝・礼典・説教など、総会行政・年金・福祉など日本生活全般。
- ・交通費・参加費：在日総会神学校が負担します。
- ・参加される方は2020年2月7日まで総幹事に連絡してください。(総幹事080-4377-3927)

## 海外韓人教会教育と牧会協議会案内

## 第12次 オーストラリア・メルボルン大会参加者 募集

- 日 時：2020年2月18日(火)16:00～21日(金) 09:00、3泊4日
- 場 所：メルボルン ハンピッ教会
- 主 題：「ディアスポラ、和解と回復のために残された者」(ヨエル2:32)、Ⅱコリント5:18～19)
- 参 加 費：US\$300(3泊4日費用)
- 締め切り：2019年12月31日まで
- 申請と問い合わせ：金柄鎬総幹事(080-4377-3927)